

パブリックコメントによる ご意見を募集

協働の指針／子ども読書活動 障害福祉計画

協働の指針
市では、市民と行政による協働のまちづくりの方針を定めた「協働の指針」を策定します。この指針について、市民の皆さんからのご意見を募集します。

「協働の指針」原案は2月1日（木）からホームページ、中央・滝山・ひばりが丘・東部の各図書館、市政情報コーナー・生活文化課（いずれも市役所2階）でご覧いただけます。

【募集期間・提出方法】2月1日（木）～16日（金）必着、次の内容を記入し、電子メール、ファクス（470・7807）、〒203 8555、市役所生活文化課市民協働係 470・7738へ。

生活文化課メールアドレス
seikatsubunka@city.higashikurume.lg.jp

子ども読書活動推進計画（案）
子どもの読書は、言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付ける上で、極めて重要なものです。

市では「東久留米市子ども読書活動推進計画案」を取りまとめ、この計画案について市民の皆さんのご意見を伺います。

計画案では、家庭や地域学校、図書館の役割や取り組むべき事項等について記述してあります。

【ご意見の取り扱い】寄せられたご意見の概要およびご意見に対する考え方は、図書館ホームページで公表します。

【募集期間・提出方法】2月1日（木）～14日（水）（必着）住所・氏名を記入し、〒203 0054 中央町2ノ6ノ23、中央図書館あて郵送、電子メールまたは直接同図書館へ。電話での受け付けおよびご意見に対する個別の回答はしません。

【ご意見の取り扱い】寄せられたご意見の概要およびご意見に対する考え方は、図書館ホームページで公表します。

中央図書館メールアドレス
toshu@city.higashikurume.lg.jp

ご意見は返却しませんので、あらかじめご承知ください。詳しくは中央図書館 ☎ 475・4646へ。

障害福祉計画
障害者自立支援法第88条に基づき障害福祉計画（素案・中間報告）について、2月9日（金）までご意見を募集しています。内容・申し込み方法は、障害福祉課（市役所1階）中央図書館わくわく健康プラザに用意した同計画をご覧ください。

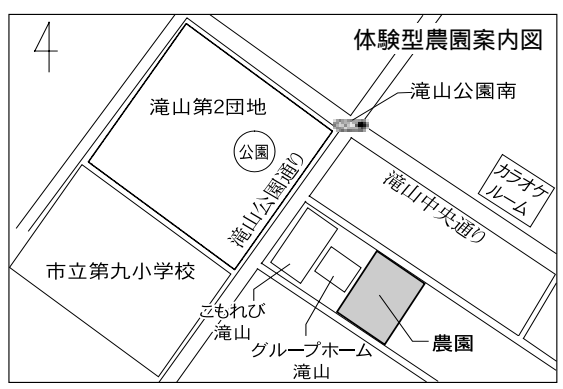
詳しくは同課 ☎ 470・7747へ。

障害福祉課メールアドレス
shogaifukushi@city.higashikurume.lg.jp

入園者募集 体験型農園 「滝山農業塾」

体験型農園「滝山農業塾」で野菜を作ってみませんか。「滝山農業塾」が開園されて4年目を迎えました。体験型農園は、入園料を支払い、園主の指導の下、種まきや苗の植え付けから収穫までを、楽しみながら体験する農園です。これらを理解いただいた上で応募してください。

【入園資格】原則として市内に在住し、農作業に熱意のある方
【募集人数】若干名（応募者多数の場合は選考）
【利用期間】3月1日～20年1月31日（希望者は1年を限度に更新可）
【入園料】3万2000円（農作物代金として1万2000円、技術指導および種・堆肥、生産資材として2万円）
【農園所在地】前沢五丁目25番（下図参照）
申し込みは2月1日（木）から、午後零時半～1時半に園主宅へ直接電話 ☎ 471・2936



【入園資格】原則として市内に在住し、農作業に熱意のある方
【募集人数】若干名（応募者多数の場合は選考）
【利用期間】3月1日～20年1月31日（希望者は1年を限度に更新可）
【入園料】3万2000円（農作物代金として1万2000円、技術指導および種・堆肥、生産資材として2万円）
【農園所在地】前沢五丁目25番（下図参照）
申し込みは2月1日（木）から、午後零時半～1時半に園主宅へ直接電話 ☎ 471・2936

【入園資格】原則として市内に在住し、農作業に熱意のある方
【募集人数】若干名（応募者多数の場合は選考）
【利用期間】3月1日～20年1月31日（希望者は1年を限度に更新可）
【入園料】3万2000円（農作物代金として1万2000円、技術指導および種・堆肥、生産資材として2万円）
【農園所在地】前沢五丁目25番（下図参照）
申し込みは2月1日（木）から、午後零時半～1時半に園主宅へ直接電話 ☎ 471・2936

2月1日から資源回収報奨金 （後期分）交付の申請受付

新聞・雑誌・段ボール・古布・アルミ缶などは、家庭から出されるごみの中で、資源として再利用できるものです。市では、市民の皆さんで組織する団体が、このよつな「資源」を市が指定する再生資源取扱業者に引き渡した場合は、その回収量に応じて報奨金を交付する資源回収報奨金制度を設けています。18年度後期分の報奨金を交付しますので申請してください。

【対象団体】市内在住の方で構成する自治会・子供会・婦人会・PTAなど

【報奨金交付額】回収実績量に応じて1kg当たり10円

【申請方法】2月1日（木）～15日（木）午前9時～午後5時

都営住宅の 入居者を募集

都営住宅の入居者を次の通り募集します。申込資格等詳細は募集案内をご覧ください。

【対象期間】今回の申請受け付け対象は、17年7月以降の回収実施報告書です

【会場】市役所5階501会議室

【申し込み】2月1日（木）～9日（金）に（土曜・日曜日を除く）市地域政策課（市役所5階）上の原・滝山・ひばりが丘の各連絡所（は除く）都庁・都内区市役所、町村役場、東京都住宅供給公社募集センター、同公社の各窓口センターで配布。なお、同公社募集センター、東京観光情報センター、また、2月13日（火）までには必着。

【募集案内の配布期間・配布場所】2月1日（木）～9日（金）に（土曜・日曜日を除く）市地域政策課（市役所5階）上の原・滝山・ひばりが丘の各連絡所（は除く）都庁・都内区市役所、町村役場、東京都住宅供給公社募集センター、同公社の各窓口センターで配布。なお、同公社募集センター、東京観光情報センター、また、2月13日（火）までには必着。

【申し込み】2月1日（木）～9日（金）に（土曜・日曜日を除く）市地域政策課（市役所5階）上の原・滝山・ひばりが丘の各連絡所（は除く）都庁・都内区市役所、町村役場、東京都住宅供給公社募集センター、同公社の各窓口センターで配布。なお、同公社募集センター、東京観光情報センター、また、2月13日（火）までには必着。

【申し込み】2月1日（木）～9日（金）に（土曜・日曜日を除く）市地域政策課（市役所5階）上の原・滝山・ひばりが丘の各連絡所（は除く）都庁・都内区市役所、町村役場、東京都住宅供給公社募集センター、同公社の各窓口センターで配布。なお、同公社募集センター、東京観光情報センター、また、2月13日（火）までには必着。

東京都住宅供給公社
ホームページアドレス
http://www.tokousya.or.jp/

説明会を開催します 市議会議員選挙に立候補予定の方へ

4月22日（日）東久留米市議会議員選挙が行われます。選挙管理委員会では立候補予定者への説明会を2月12日（休）午後2時から市役所7階701会議室で開催します。

立候補予定者と関係者は、必ず出席してください。なお、会場の都合上、1候補者2名以内をお願いします。

当日は、筆記用具、印鑑（立候補関係書類受領者）を持参してください。

当日、説明会受付表に記載していただくために、立候補予定者の氏名（ふりがな）住所 本籍 生年月日 党派 職業 電話番号 選挙管理委員会から連絡する場合の連絡先（担当者氏名、電話番号）をあらかじめ確認してください。

なお、この選挙についての詳細は、改めて広報紙でお知らせします。詳しくは同委員会事務局 ☎ 470・7790へ。



ご支援・応援 ありがとうございました

都立久留米高校
都立久留米高校サッカー部の全国高等学校選手権大会出場に際し、懸垂幕や立て看板、募金活動等で、地域の皆様に多大なご支援、応援をいただきました。

結果は1回戦において1対2の惜敗でしたが、おかげさまで全国大会に向け、十分に準備して臨むことができました。

本校教職員ならびに生徒一同、心より感謝申し上げます。

都立久留米高等学校長 堂山 勇



事務手数料が改定されます （郵送分の住民票等）

東久留米市事務手数料条例が改正されました。これにより、2月1日から、住民票の写し（全部・一部）、住民票記載事項証明書および戸籍附票の郵送分の手数料が1通3手数料は、住民基本台帳法の

00円に改定されます。なお窓口請求と自動発行機利用の場合には1通200円で変わります。

詳しくは市民課住民記録係 ☎ 470・7722へ。

改正によって営利目的の閲覧ができなくなったことにより、1件転記につき200円のみで改定されます。

詳しくは市民課住民記録係 ☎ 470・7722へ。



新しい年が始まり、新たな気持ちで頑張ること仕事を始めましたが、もう一月が過ぎてしまいました。仕事始めの日、職員に「国も地方公共団体も新たな時代を迎えた。三位一体改革は地方公共団体の自立を強く求め、国の財政支援のあり方の大転換期を迎えた。市においても都市経営をどう行っていくかが、今後の市のありようを決定する執行の重みを再認識することにも、政策立案能力、法規解釈能力、業務評価能力、管理能力を意識してほしい。新たな地方公共団体の組織や行政事務がどうあるべきなのか平成20年の組織改正に向け勝負の年である。行政の常識が常識でない、非常識が常識になる可能性もある。既存の枠にとらわれない発想が必要である。このまちの将来を考え、今何をしなければならぬのかを考え、行政執行に当たってほしい。皆さんとい仕事をした」と伝えました。

少子高齢化は、私たちが考えている以上に歪（ひず）みを生んできています。戦後成長を続けた社会システムも再構築の時代を迎えています。新しい時代を切り開く使命感が行政には必要です。さまざまな障害もあっても、思いが、わがまちの将来を見据えて努力を続けたいと思います。

わたしの
見てある記
野崎重弥

